

# 富山大学薬学部 学生後援会

## 令和6年度（第27回）総会（抄）

令和6年4月5日（金）午後1時30分より  
富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーデトリウム

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
  - 5-1. 令和5年度事業報告 (p. 3)
  - 5-2. 令和5年度会計報告 (p. 12)  
監査報告 (p. 12)
  - 5-3. 新役員選出 (p. 13)
  - 5-4. 令和6年度事業予定（案）審議 (p. 14)
  - 5-5. 令和6年度予算（案）審議 (p. 18)
6. その他
  - 6-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 19)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

## 参加人数

正会員（保護者様）は 49 組・60 名参加されました。

教員は、松谷薬学部長、および学内理事（令和 5 年度および令和 6 年度教職員会員）含めて 11 名参加されました。なお、藤井理事と李理事は学部 1 年生担任用務のため途中から出席されました。

### 1. 開会の辞

赤沼理事から、開会の挨拶がなされました。

### 2. 会長挨拶

和田会長から、以下の概要の挨拶がなされました。

挨拶に先立ち、能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りされ、ならびに被災者に対してお見舞いの言葉を述べられました。続いて、新しく入学された学生さんの保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および教職員理事各位への感謝の言葉を述べられました。また、保護者・正会員のみなさまへの思いやりの言葉、そして今後の明るい学生生活に対するの願いを述べられました。

### 3. 学部長挨拶

松谷薬学部長から、以下の概要の挨拶がなされました。

保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および富山大学薬学部の学生教育の現状について述べられました。特に、薬学科および創薬科学科の両学科の違いについて、入学定員、アドミッション・ポリシー、卒業・修了後の進路の観点で説明がなされました。

(正会員（保護者）のみなさまからの質問)

なし

### 4. 議長選出

議長として、和田会長が選出されました。

## 5. 議事

### 5-1. 令和 5 年度事業報告

#### 5-1-1. 令和 5 年度（第 26 回）総会

担当： 赤沼

令和 5 年 4 月 7 日（金）の午後 1 時 30 分より、杉谷（医薬系）キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて令和 5 年度総会を執り行いました。令和 4 年度の事業（総会、国家試験対策、TOEIC 受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況）および決算が承認されました。また令和 5 年度の正会員理事 15 名、教職員会員理事 8 名、正会員監査 1 名、教職員会員監事 1 名が承認されました。さらに令和 5 年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。また、理事の方より、いくつか検討事項をご提案いただきましたので、今後の検討課題として対応していくこととしました。

## 5-1. 令和5年度事業報告（続き）

### 5-1-2. 課外教育援助①（国家試験対策）

担当：廣瀬

#### 結果

薬学部6年制導入後の第13期生が令和5年度に最終学年を迎え、令和6年2月17日及び18日に新卒者54名、既卒者12名、及びその他（旧4年制卒業者・受験資格認定者）6名が薬剤師国家試験を受験しました。先日3月19日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です（前々回全国合格率：68.02%，前回全国合格率：69.00%，今回全国合格率：68.43%）。

	富山大学			全国		
新卒	49名合格（54名受験）	90.74%	7,100名合格（8,416名受験）	84.36%		
既卒	6名合格（12名受験）	50.00%	2,103名合格（4,957名受験）	42.42%		
その他	2名合格（6名受験）	33.33%	93名合格（212名受験）	43.87%		
計	57名合格（72名受験）	79.17%	9,296名合格（13,585名受験）	68.43%		

#### 対策

令和5年度に学生後援会として、薬学科6年生（56名）および博士課程薬剤師コース4年生（4名）向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール：講義(52コマ) 13日間，模擬試験(5回) 7日間
- ・ メディセレスクール社：模擬試験（1回） 2日間

### 第109回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

#### 【講習会・模擬試験】

今年度	内容	講義室
5月8日(月)	ガイダンスⅠ(90分程度)	403
5月13日(土)	スタートアップ模試(全員)	403
7月22、23日(土・日)	ステップアップ模試(全員)	403
9月19、20日(火・水)	全国統一模擬試験Ⅰ(全員) (薬ゼミ)	403
11月13日(月)	ガイダンスⅡ+対策講義(治療)	看護10
11月16日(木)	対策講義(衛生)	看護10
11月20日(月)	対策講義(物理)	看護10

11月24日(金)	対策講義(実務)	看護 10
11月27日(月)	対策講義(生物)	看護 10
11月30日(木)	対策講義(薬理)	看護 10
12月4日(月)	対策講義(薬剤)	看護 10
12月7日(木)	対策講義(法規)	看護 10
12月11日(月)	対策講義(化学)	看護 10
12月14、15日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅱ(全員) (薬ゼミ)	看護 10
12月18日(月)	弱点克服講義(薬剤)	看護 10
12月21日(木)	弱点克服講義(実務)	看護 10
1月5、6日(金・土)	全国統一模擬試験(全員) (メディセレ)	看護 10
1月11日(木)	弱点克服講義(薬剤)	看護 10
1月15日(月)	弱点克服講義(薬理)	看護 10
1月18日、19日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅲ(全員) (薬ゼミ)	看護 10
2月17、18日(土・日)	第109回薬剤師国家試験	北陸大学

## 費用

- ・薬学ゼミナール（講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式）： 3,187,600 円（税込）
  - ・メディセレスクール（模擬試験 1 回）： 246,620 円（税込）
- 総計： 3,434,220 円（税込）

国試対策の総額は 3,434,220 円でした。このうち、模試受験のみの 1 名の負担額 13,200 円を差し引いた 3,421,020 円を 59 名の受講者で負担し、一人あたり 57,983 円となりました。学生後援会入会の薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人あたり 16,983 円を支援し、各受講者から 41,000 円/名を集金しました。また、学生後援会未入会の薬学部 6 年生 1 名と博士後期課程 4 名は学生後援会からの援助は無いため、57,983 円/名を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

## その他

2月17、18日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生のほとんどが近畿日本ツーリストによるツアー（2泊3日）に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました（旅行代金は一人当たり 40,000 円）。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

## 5-1. 令和5年度事業報告（続き）

### 5-1-3. 課外教育援助②（TOEIC 支援）

担当：千葉

概要：TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)は英語によるコミュニケーション能力を  
検定する試験であり、大学院入試に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合があります。  
学生後援会では、薬学部生（薬学科・創薬科学科双方）を対象としたTOEIC講習会・  
IPテスト（杉谷キャンパスにて開催）などを、大学の英語教育にプラスして企画・実施して  
います。そして創薬科学科の受講生・受験生に対してその費用を支援しています。

#### 活動報告 (令和5年度)

##### 1) 創薬科学科1, 2年生へのTOEIC最新テキスト配布（令和4年度開始）

- ・早期からTOEIC対策に取り組めるように、学生後援会入会済の創薬科学科1, 2年生全  
員に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集9）を配布しました。

経費： 学生後援会による支援（合計264,000円）： 問題集9（単価3,300円） 80名分

（備考） テキストは創薬科学科1, 2年生の入会者数 +  $\alpha$ として80部を発注し、未入会者への  
入会を呼びかけつつ配布しました。最終的に未入会者、および休学、退学者は配布の  
対象外とし、1冊の残余が生じました。

##### 2) TOEIC講習会（令和5年11月3日（金・祝） 9:00～15:00）

- ・外部講師（2講師，イーオン社）にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコ  
ースの2クラス制で実施しました。令和4年度と同様に、Zoomを用いてオンラインで  
実施しました。
- ・2クラスともに創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。

実施状況：参加者14名（支援対象の学生14名、支援対象外0名）

(1) 入門コース：8名 創薬科学科2年：7名，3年：1名，4年：0名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 9

(2) スコアアップコース：6名 創薬科学科2年：2名，3年：5名，4年：0名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8\*

（\*昨年使用したテキストを利用することで、昨年入門コースを受講した  
学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮した）

経費： 1) 学生後援会による支援（合計232,320円）

(内訳)

入門コース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
添削費	8名	880円/名	金額 7,040円
スコアアップコース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
追加注文した教材費（問題集）	0冊	3,300円/冊	金額 0円
添削費	6名	880円/名	金額 5,280円

2) 支援対象外参加者の参加費等（令和5年度は該当なし）

講習会終了直後にメールにてアンケートを実施しました。（回答数：14名中9名）

1. 満足度：大変満足 4名，おおよそ満足 4名，どちらでもない 1名，不満 0名
2. 難易度：非常に易しい 0名，少々易しい 2名，ちょうどよい7名，少々難しい 0名，難しい 0名
3. 開催時期：適切 9名，他の時期がよい 0名
4. 講習会の時間：長すぎる 0名，少々長い3名，ちょうどよい 5名，少々短い 1名
5. 次回の参加希望：入門コース 1名，スコアアップコース 5名，十分だ 3名
6. 意見等：
  - ・各問題の解き方を教えていただけたのはもちろん、解くべき問題と解かなくていい問題についてもわかりやすく教えていただけたのでよかったです。
  - ・今日のような祝日にやって下さると、何も予定を入れない時間を有意義に使えたかと思います。各パートの解くコツなど、大変参考になりました。
  - ・自分自身TOEICが苦手であったが、講習会を通して自信がついたのでこれからも勉強を重ねて頑張っていきたいと思う。
  - ・TOEIC特有のリーディング・リスニングのコツ、頻出問題等（特にリーディング）をもう少し知りたかったです。

3) TOEIC-IPテスト 令和5年11月29日（水：予備・調整日）10：00～12：00実施

- ・薬学部の両学科対象で杉谷キャンパスにて実施しています。
- ・入会済みの創薬科学科学生に対して、受験料3,455円を2回分まで支援しています。
- ・令和5年度の支援対象人数：17名（創薬科学科2年：6名，3年：11名，4年：0名）

経費： 学生後援会による支援（合計58,735円）：受験料 3,455円 × 17名

## 5-1. 令和5年度事業報告（続き）

### 5-1-4. 課外教育援助③（学部1年生対象医療学研修支援）

担当：赤沼

令和5年5月13日（土）、医学部・薬学部合同にて学部1年次生を対象とした医療学研修が実施された。立山黒部アルペンルートの最高地点である室堂にて、学生さん達はユニバーサルデザインが取り入れたもの・製品をレポートするなど医療的グループ課題に取り組んだ。優秀な課題を作成したグループには景品が与えられ、その景品に関わる経費を医学部学生後援会と折半して提供した。なお、各学部の学生数を考慮し、薬学部学生後援会からは5,376円を提供しました。

### 5-1-5. 課外教育援助④（卒論発表会支援）

担当：赤沼

令和6年2月9日（金）、薬学部4年次生を対象に令和5年度卒業研究発表会が行われました。今年度も昨年度と同様に、杉谷キャンパス体育館において対面形式にて開催となりました。アフターコロナとなり、創薬科学科の学生さんは約1年間取り組んだ卒業研究の集大成を、薬学科の学生さんは授業と臨床前実習などと合わせて行った卒業研究の中間報告を、ポスターにまとめて発表しました。掲示されたポスターの前で、4年生の皆さんは教員および学部生・大学院生からの質問に対して回答しました。また教員、大学院生、学部生（3年次生以上）による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞5名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞8名が選ばれ、賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費を提供しました。

## 5-1. 令和 5 年度事業報告（続き）

### 5-1-6. 学生教育推進費（学生実習援助）

担当：赤沼・千葉（実施責任者）

令和 3 年度に、化学実習室の実験台流し（SUS ステンレス製）が経年劣化により腐食し、漏水・漏電が発生しました。そこで化学実習室の実験台流し 46 個全ての腐食進行具合を調査し、腐食が特に激しかった 14 個の流しについて、薬学部経費にて耐化学薬品性の高い PP（ポリプロピレン）製の実験台流しへと交換修理しました（令和 3 年度末の春季休業期間中）。しかし未だ腐食が進行してきている実験台流しが残っており、追加での交換修理に対する援助の要望が有りました。

本件につきまして、令和 5 年度の総会にてご承諾を得て修理が次の通り実施されました。

修理実施日：令和 5 年 8 月 24 日（木）

- ・ PP 製の実験台流し 2 個の交換修理
- ・ 学生後援会 学生実習援助からの支援分：314,160 円

## 5-1. 令和 5 年度事業報告（続き）

### 5-1-7. 課外活動に対する補助金

担当：田口

令和 5 年度の課外活動に対する補助金を決定し支給しました。

### 5-1-8. 奨学資金援助

担当：田口

令和 5 年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は 22 名です。

## 5-1. 令和 5 年度事業報告（続き）

### 5-1-9. 広報

担当：沖津

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは総会や保護者懇談会の報告など逐次アップデートし、内容の充実を図っております。ホームページは令和 3 年度にリニューアルされております。ご覧いただければ幸いです。

（新）富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



### 5-1-10. 保護者懇談会

担当：赤沼

令和 5 年 10 月 23 日（土）の午後 2 時より杉谷キャンパスにおける大学祭（医学薬学祭）の開催期間に合わせて、杉谷キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて開催しました。

### 5-1-11. 入会状況

担当：赤沼

令和 5 年度の新規加入者は 103 名（新入生薬学科 72 名中 64 名、新入生創薬科学科 35 名中 35 名、在學生薬学科 1 名、在學生創薬科学科 3 名）でした（新入生：2023.12.1～2024.3.31、在學生：2023.4.1～2024.3.31）。また、令和 6 年度入学者 93 名（新入生薬学科 60 名、新入生創薬科学科 33 名）の入会を受け付けました（2024.4.4 現在）。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および 3 年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

#### （参考）令和 5 年 11 月 – 令和 6 年 3 月入学試験合格者

特別選抜入学者：薬 31 名 創薬 3 名

前期合格者：薬 40 名 創薬 35 名

後期合格者：薬 6 名 創薬 6 名

## 5-2. 令和 5 年度会計報告

以下、池田理事から、令和 5 年度収支決算について報告がなされた。沖津理事から、2024 年 3 月 13 日に監査がなされた旨も報告された。会計報告について特に質問はなかった。

担当：池田

令和 5 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通り報告致します。

(自 令和 5 年 3 月 1 日 ～ 令和 6 年 2 月 29 日)

### 収支決算報告書

#### 表 1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

#### 表 2. 緊急対策会計収支報告

<略>

#### 表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

### 収支監査報告

<略>

### 5-3. 新役員の選出

担当：岡田

#### 令和6年度役員名簿

##### 理事（正会員）

会長：	<u>和田 恭典</u>	(薬学科)	副会長：	<u>深山 敦子</u>	(薬学科)
理事：	笈 久史	(薬学科)	理事：	野原 英治	(薬学科)
理事：	松澤 孝泰	(薬学科)	理事：	大島 健一	(薬学科)
理事：	飯島 弥生	(薬学科)	理事：	大野 秀棋	(創薬科学科)
理事：	鶴居 正美	(薬学科)	理事：	<u>田辺 智</u>	(創薬科学科)
理事：	齋藤 正樹	(薬学科)	理事：	<u>松浦 智早</u>	(創薬科学科)
理事：	<u>本田 絵里</u>	(薬学科)			

##### 理事（教職員会員）

副会長：	松谷 裕二	(薬学部長)
庶務：	岡田 康太郎	(製剤設計学)
入会・人事：	<u>藤井 拓人</u>	(薬物生理学)
課外教育 国家試験：	沖津 貴志	(分子合成化学)
課外教育 TOEIC 講習：	千葉 順哉	(薬化学)
課外活動・奨学資金：	田口 雅登	(実践薬学)
会計：	<u>横山 悟</u>	(がん細胞生物学)
広報：	<u>李 貞範</u>	(植物機能科学)

##### 監事

監事（正会員）	<u>森田 利佳</u>	(薬学科)
監事（教職員会員）	<u>李 貞範</u>	(植物機能科学)

(下線は新任)

会長、新副会長、学内外の新理事、監事について、承認された。

## 5-4. 令和6年度事業予定（案）審議

### 5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援，薬学科6年生対象）

担当：沖津

令和6年度は、新カリキュラム導入後の第14期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科6年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和6年	5月頃	国家試験についてのガイダンス
	5月末頃	スタートアップ模試（薬学ゼミナール）
	7月末頃	ステップアップ模試（薬学ゼミナール）
	9月頃	全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール）
	11月頃	予備校講師によるガイダンス
	11～12月頃	予備校講師による講習会
	12月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール）
令和7年	1月上旬頃	模擬試験（メディセレスクール）
	1月中旬頃	予備校講師による講習会
	1月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール）
	2月下旬	第110回薬剤師国家試験

令和5年度の第109回国家試験は、全体としての難易度は第108回より高くなり、平均点は下がりました。理論問題では、患者を主体にして、多科目の知識を繋げて対応する能力を測る出題が継続しており、臨床を意識した問題が増加しました。実践問題では、多くの患者情報（合併した複数疾患、多くの症状、処方薬、検査値など）から必要な情報を取捨選択し、適切な治療に繋げる能力が求められる問題が出題されました。また、医師、研修医、看護師など様々な医療従事者に提案する内容を解答する問題、薬剤師が予防医療に携わることが求められていることから予防接種（子宮頸がん、予防接種法）に関する問題なども出題されました。加えて、「個別最適化薬物治療」を意識した患者の症状や検査値から適した対応を解答させる問題、地域連携薬局・健康サポート薬局・チーム医療・医療計画策定など薬剤師を取り巻く環境を把握しておく必要のある問題などが増加しました。第109回国家試験では、これまでに見られた領域間での正答率の大きな差が縮まり、どの領域も満遍なく得点できる力が求められる傾向が見られました。したがって、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導する予定です。令和6年度の国家試験対策は、過去の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

## 5-4. 令和6年度事業予定（案）審議（続き）

### 5-4-2. 課外教育援助②（TOEIC支援）

担当：千葉

令和6年度は、以下のようにTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う予定です。

#### 活動予定

#### 1) 創薬科学科1,2年生へのTOEIC最新テキスト配布

- ・ 学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集10）を配布予定です。

#### 2) TOEIC講習会（令和6年11月を予定）

- ・ 外部講師（2講師、イーオン社）による入門&スコアアップコースの2クラス制で実施します。本年度は対面による実施も含めて検討します。使用教材については、入門コースは最新の問題集10、スコアアップコースは令和5年度に入門コースで使用した問題集9の予定です。
- ・ 創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。
- ・ 平成30年度より、学部2年生も受講（支援）対象としています。TOEIC活動周知を徹底して、参加者増（特に学部2年生）を目指します。

#### 3) TOEIC-IPテスト（薬学部対象：令和6年11月 杉谷キャンパスにて実施予定）

- ・ 学生後援会から、創薬科学科学生の受験費（2回まで）を支援します。

#### \* TOEIC対策についての周知

- ・ 年度始めのガイダンスにて、両学科学生への周知徹底を図ります。
- ・ 必修科目の授業後にアナウンスを行うなど、効果的な周知を行います。

#### \* 今後の課題→参加者数増

- ・ 大学院入試の出願時に外部英語試験（TOEIC等）のスコアが必要となるため、TOEICの対策を早期に行い、スコアアップする重要性を周知します（大学院入試ではTOEIC730点を満点と換算します）。
- ・ 薬学科の学生も製薬企業等への就職や進学の際、多くの場合においてTOEICスコアが必要なため、ガイダンス等で周知し、TOEIC対策への積極的な参加を促します。
- ・ 学生にとって受講、受験しやすい日程を考慮して参加者増に努めます。

#### 5-4. 令和6年度事業予定(案)審議(続き)

##### 5-4-3. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当：岡田

令和7年2月に薬学部4年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

##### 5-4-4. 学生教育推進費 (学生実習援助)

担当：岡田・沖津 (実施責任者)

本年度は、学生実習にて薬学部生全員が利用する、融点測定器を2台購入する予定です。

#### 経緯

現在、薬学部学生が受けている化学系実習において使用している8台の融点測定器は、すべて水銀温度計を用いています。しかし、水銀汚染防止法に対応するため、現在使用している融点測定器を可及的速やかに処分し、「水銀不使用」のデジタル融点測定器に切り替える必要が生じています (右：融点測定器 ATM-02, アズワン)。



#### 見積もり額 (2024年1月時点)

243,298 円 (121,649 円 x 2 台)

#### 5-4-5. 課外活動援助

担当：田口

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

#### 5-4-6. 奨学資金援助

担当：田口

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

#### 5-4-7. 広報活動

担当：李

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新) 富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



#### 5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：岡田

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和6年10月19日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

#### 5-4-9. 令和7年度総会の開催

担当：岡田

令和7年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上、令和6年度事業計画が各担当より説明され、原案通り承認された。

5-5. 令和6年度予算(案)審議

担当：横山

**表4. 学生後援会本会計予算(案)**

<略>

**表5. 緊急対策会計予算(案)**

<略>

**表6. 奨学資金会計予算(案)**

<略>

以上、令和6年度予算案が、原案通り承認された。

## 6. その他

### 6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当：岡田

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第101号（令和6年2月発刊）より抜粋、学年は受賞時）

- 卒業論文最優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**永田 朋也**（創薬科学科4年；神経機能学領域）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**中島 海斗**（創薬科学科4年；薬品製造学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**山本 こみち**（創薬科学科4年；薬化学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**緒方 萌乃**（創薬科学科4年；薬物生理学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**神田 奈菜子**（創薬科学科4年；薬物生理学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**南 拓磨**（創薬科学科4年；薬物生理学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**深津 日向子**（創薬科学科4年；未病分野研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**中野 友貴**（薬学科4年；附属病院薬剤部研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**山下 息吹**（薬学科4年；生体界面化学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**矢島 葵衣**（薬学科4年；薬物生理学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**勅使川原 千瑳**（薬学科4年；薬物生理学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**中山 愛美**（薬学科4年；薬物生理学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和4年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和5年2月  
**高森 華月**（薬学科4年；病態制御薬理学研究室）

- 富山大学成績優秀者表彰 学長賞 令和 5 年 3 月  
定村 龍太 (博士後期課程 3 年；薬剤学研究室)
- 学生表彰 (令和 4 年度卒業式) 令和 5 年 3 月  
佐藤 芽衣 (博士前期課程 2 年；附属病院薬剤部研究室)
- 薬学部長表彰 (令和 4 年度卒業式) 令和 5 年 3 月  
島 和花 (薬学部 6 年；応用薬理学研究室)
- 薬学部長表彰 (令和 4 年度卒業式) 令和 5 年 3 月  
喜瀬 真妃 (薬学科 6 年；附属病院薬剤部研究室)
- 薬学部長表彰 (令和 4 年度卒業式) 令和 5 年 3 月  
岸本 佳与 (創薬科学科 4 年；附属病院薬剤部研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部 (日本薬学会第 143 年会) 令和 5 年 3 月  
宮西 肇 (博士後期課程 3 年；薬物治療学研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部 (日本薬学会第 143 年会) 令和 5 年 3 月  
董 昱卓 (博士後期課程 3 年；薬用資源管理部門)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部 (日本薬学会第 143 年会) 令和 5 年 3 月  
大小原 清貴 (博士課程前期 2 年；薬剤学研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部 (日本薬学会第 143 年会) 令和 5 年 3 月  
筱井 佳奈子 (薬学科 5 年；生体界面化学研究室)
- 学生優秀発表賞・ポスター発表の部 (日本薬学会第 143 年会) 令和 5 年 3 月  
中島 海斗 (創薬科学科 4 年；薬品製造学研究室)
- 日本薬剤学会第 38 年会最優秀発表者賞 (日本薬剤学会第 38 年会) 令和 5 年 5 月  
飛田 長閑 (薬学科 5 年；製剤設計学講座)
- Student Encouragement Award :34th CINP World Congress of Neuropsychopharmacology  
令和 5 年 5 月  
宮西 肇 (博士後期課程 3 年；薬物治療学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2023:34<sup>th</sup> CINP World Congress of  
Neuropsychopharmacology 令和 5 年 5 月  
宮西 肇 (博士後期課程 3 年；薬物治療学研究室)
- 愛・内分泌賞 (優秀演題賞) (第 96 回日本内分泌学会学術総会) 令和 5 年 6 月  
宮澤 佑一郎 (博士後期課程 3 年；病態制御薬理学研究室)

- Organic & Biomolecular Chemistry 賞 (第 20 回ホスト・ゲスト超分子化学シンポジウム)  
令和 5 年 6 月  
市川 大貴 (薬学科 6 年; 薬化学研究室)
- 優秀発表賞 (第 40 回和漢医薬学会学術大会) 令和 5 年 8 月  
西村 望夢 (薬学科 6 年; 附属病院薬剤部研究室)
- 学生口頭発表 第 1 位 (第 7 回富山・バーゼルジョイントシンポジウム) 令和 5 年 8 月  
井城 綸沙 (博士後期課程 3 年; 神経機能学領域)
- ポスター賞 (第 7 回富山・バーゼルジョイントシンポジウム) 令和 5 年 8 月  
山前 結 (博士後期課程 2 年; 和漢研 生体防御学領域)
- ポスター賞 (第 7 回富山・バーゼルジョイントシンポジウム) 令和 5 年 8 月  
影山 哲平 (博士後期課程 1 年; 薬物生理学研究室)
- ポスター賞 (第 73 回コロイドおよび界面化学討論会) 令和 5 年 9 月  
山本 泰直 (薬学科 6 年; 生体界面化学研究室)
- 優秀発表賞 (ポスター) (2023 年度有機合成化学北陸セミナー) 令和 5 年 10 月  
西沖 航平 (博士課程 2 年; 薬化学研究室)
- 優秀発表賞 (ポスター) (2023 年度有機合成化学北陸セミナー) 令和 5 年 10 月  
小菅 周斗 (博士後期課程 2 年; 薬品製造学研究室)
- Global Education Seminar Presentation Award 2023 令和 5 年 10 月  
大小原 清貴 (博士課程後期 1 年; 薬剤学研究室)
- 中部奨励賞 (第 70 回中部日本生理学会) 令和 5 年 10 月  
影山 哲平 (博士後期課程 1 年; 薬物生理学研究室)
- 口頭発表 優秀賞 (第 9 回ゼブラフィッシュ・メダカ創薬研究会 (ZMDD2023)) 令和 5 年 11 月  
石坂 光 (博士前期課程 1 年; 応用薬理学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for AsCNP2023 令和 5 年 11 月  
徳竹 伯洸 (博士後期課程 1 年; 薬物治療学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for AsCNP2023 令和 5 年 11 月  
陳 文兵 (博士後期課程 3 年; 薬物治療学研究室)
- 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 135 回例会) 令和 5 年 11 月  
田口 広武 (薬学科 5 年; 製剤設計学研究室)
- 学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 135 回例会) 令和 5 年 11 月  
南 拓磨 (博士前期課程 1 年; 薬物生理学研究室)

- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 135 回例会） 令和 5 年 11 月  
全 泰錫 （博士前期課程 2 年；薬化学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 135 回例会） 令和 5 年 11 月  
小菅 周斗 （博士後期課程 2 年；薬品製造学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 135 回例会） 令和 5 年 11 月  
安力川 哲也 （博士前期課程 2 年；薬化学研究室）
- IFSI Travel Grant 2023 令和 5 年 11 月  
松田 康佑 （博士後期課程 1 年；応用薬理学研究室）
- 富山大学学長賞 第 7 回「未知に挑む女性研究者賞」女子学生部門 令和 5 年 11 月  
井城 綸沙 （博士後期課程 3 年；神経機能学領域）

会場からのご質問・ご意見について

- [1] 令和 5 年度事業における学部 1 年生対象の医療学研修支援についての説明を受けて、保護者様から医療学研修の内容に関する質問がなされました。赤沼理事から本研修内容について説明がなされました。
- [2] 保護者様から学部 3 年次からの成績に基づく研究室配属の方法に関する質問がなされた。赤沼理事、および松谷副会長から、方式の概要と選ぶ上で考えるべき点、そして学生のみなさんに対しては今後追加アナウンスがなされる旨について説明がなされました。

総会終了後

希望者を対象に薬学部施設の見学会が実施されました。2つの小グループに分かれ、岡田理事および藤井理事による学内ツアーが行われました。なお、民族薬物資料館のご紹介は本資料館の館長である森田先生に行って頂き、臨床前実習・実習室は田口理事が、薬用植物園は李理事が紹介されました。